

2019年10月31日九州電力株式会社

2019 年度(2020年3月期) 第2四半期決算についてお知らせします

2019 年度第2四半期(2019 年4月1日~2019 年9月30日)の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、決算短信及び決算説明資料をご参照ください。

1 2019 年度第2四半期決算概要

当第2四半期の業績につきましては、原子力発電電力量の増加などによる燃料費の減少はありましたが、卸電力取引の市況低迷などにより他社販売電力料が減少したことに加え、需給運用上余剰となったLNGの転売において大幅な市況下落に伴い損失が拡大したことや、松浦発電所2号機の試運転開始に伴い減価償却費が増加したことなどにより、前年同四半期に比べ減益となりました。

収入面では、ICTサービス事業で増収となった一方で、国内電気事業において、販売電力量が前年同四半期と同水準となったことなどにより電灯電力料は前年同四半期並みとなったものの、卸電力取引の市況低迷などによる他社販売電力料の減少などにより減収となったことなどから、売上高は前年同四半期に比べ 1.1%減の1兆202億円、経常収益は 1.0%減の1兆287億円となりました。

支出面では、国内電気事業において、LNG転売損失や減価償却費、連結子会社の電力調達費用の増加はありましたが、原子力発電電力量の増加などによる燃料費の減少などにより費用減となった一方で、ICTサービス事業において費用増となったことなどから、経常費用は 0.2%増の1兆116億円となりました。

以上により、経常利益は前年同四半期に比べ 42.1%減の 170 億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 63.4%減の 71 億円となりました。

連	<u>連 結</u> (億円、%									
		_		当第2四半期 (2019年4~9月)	前第2四半期 (2018年4~9月)	増	減	増	自減率	
経	常	収	益	10, 287	10, 390	Δ	102	Δ	1.0	
売	上高	[再	掲]	10, 202	10, 316	\triangle	113	Δ	1.1	
経	常	費	用	10, 116	10, 095		21		0.2	
経	常	利	益	170	295	\triangle	124	Δ	42.1	
親:	会社株主	: に帰	属する		400		101	_	20.4	

四半期純利益 (参考)主要諸元表

	当第2四半期	前第2四半期	増	減
	(2019年4~9月)	(2018年4~9月)	Ι	,,,
当社グループ合計の 販売電力量	365億kWh	365億kWh		_
原油 CIF 価格	69\$/b	74\$/b	\triangle	5\$/b
為替レート	109円/\$	110円/\$	\triangle	1円/\$
原子力[送電端]	133億kWh	108億kWh)8億kWh 25億	
(設備利用率)	(75.9%)	(54.9%)		(21.0%)

(注) 当社グループ合計の販売電力量は、当社及び連結子会社(九電みらいエナジー㈱)の数値を記載している

2 2019 年度中間配当

2019 年度の中間配当につきましては、普通株式1株につき 20 円といたします。

3 2019 年度(2019 年 4 月 1 日~2020 年 3 月 31 日) 業績予想及び期末配当予想

2019年度連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年7月31日 に公表した業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、国内電気事業において、卸電力取引の市況低迷などによる他社販 売電力料の減少などから、前回公表値を下回る2兆350億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、事業活動全般にわたる徹底した効率化等にグループ一体となっ て取り組むものの、国内電気事業において、売上高の減少に加え、需給運用上余剰となった LNGの転売において大幅な市況下落に伴い損失が拡大することなどから、前回公表値を下 回る 550 億円程度となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回公表値を下回る 300 億円程度と なる見通しです。

2019 年度個別業績予想につきましても、連結と同様に売上高、利益とも修正いたします。 2019 年度期末配当予想につきましては、当年度業績予想の修正を踏まえ、誠に申し訳なく 存じますが、前回公表値の普通株式1株あたり20円(年間40円)から15円(年間35円)に修 正いたします。

連結 (億円.%)

								NEXT 11 / 07
			今 回	前回公表 (7月)	増	減	増	減率
売	上	高	20, 350	20, 850	\triangle	500	Δ	2.4
営	業利	益	800	1,050	\triangle	250	\triangle	23.8
経	常 利	益	550	800	\triangle	250	\triangle	31. 3
親会当	社株主に帰属 期 純 利		300	550	Δ	250	\triangle	45. 5

個 別 (倍田 0/1)

		応 1/ /0/						
			今 回	前回公表 (7月)	増	減	埠	自減率
売	上	高	18, 500	19, 150	Δ	650	\triangle	3. 4
営	業利	益	500	750	Δ	250	\triangle	33. 3
経	常 利	益	250	500	Δ	250	\triangle	50.0
当	期 純 利	益	100	350	\triangle	250	\triangle	71. 4

(参考) 主要諸元表

	今 回	前回公表 (7月)	増	減
当社グループ合計の 販売電力量	753億kWh	747億kWh		6億kWh
原油 CIF 価格	67\$/b	70\$/b	\triangle	3\$/b
為替レート	109円/\$	110円/\$	Δ	1円/\$
原子力[送電端]	286億kWh	273億kWh		13億kWh
(設備利用率)	(81.7%)	(78.1%)		(3.6%)
販売電力量(個別)	727億kWh	734億kWh	\triangle	7億kWh

(注) 当社グループ合計の販売電力量は、当社及び連結子会社(九電みらいエナジー㈱)の数値を記載している

1 株当たり配当金

	_	/	_		今	口	前回公表 (7月)	増	減		
中				間		20	20		_		
期	末	(予	想)		15	20	\triangle	5		
年	間	(予	想)		35	40	\triangle	5		

以上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」 そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。 それが、私たち九電グループの思いです。

/m)